

事業所名

児童発達支援センターかえで

支援プログラム

作成日

令和7年

10月

10日

法人（事業所）理念		1. 私たちは、人間の尊厳と社会連帯の思想を基本理念とし、公平・公正は法人運営に努めます。2. 私たちは、常に健全かつ活力ある経営に努めるとともに、民間社会福祉事業としての先駆性・独自性を発揮し、国民の期待に応えます。3. 私たちは、広く法人・施設の機能を挙げて、地域福祉の充実発展に寄与します。4. 私たちは、自らの資質向上を図るとともに、よりよいサービス提供を目指し成長していきます。5. 私たちは、相互の関係機関との交流を深めるとともに、切磋琢磨を怠らず、進んで研修・研究に努め、社会の進展に応じた広い視野をもって経営にあたります。									
支援方針		利用するすべての人が幸福に暮らしていくために支え合い、生き生きと暮らせるサポートをする。 こどもたちの気持ちを大切に、それぞれに合った個別のケアを行いながら、こどもたちや家族が安心できるような環境づくりを目指す。									
営業時間		8時	30分	から	17時	30分	まで	送迎実施の有無	あり		
支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	○重心、医療的ケア児に対して、生命を守る機能の安定（呼吸循環や血圧体温などの自律神経機能、摂食・嚥下機能、消化・吸収・排泄機能）を図るようケア、支援をする。 ○基本的な生活習慣（食事、排泄、睡眠、着脱）を形成できるように、個々に応じたスキルの獲得を支援する。 ○全身状態や表情等を観察し、体調の変化や緊急事態の早期発見、対応を行う。									
	運動・感覚	○身体機能の向上及び維持を図れるよう、専門的支援計画の基、関節可動域や座位保持の訓練を行う。 ○視覚、聴覚、触覚、嗅覚、味覚の感覚を遊び等を通して、経験・体験できるよう支援する。 ○感覚の過敏さや鈍麻さ等の特性に配慮した活動を提供し、安心して取り組めるよう支援する。また、個々に応じた粗大運動、微細運動を取り入れた支援を行う。									
	認知・行動	○個々に応じたスケジュールを提示し、見通しをもって、自発的・自主的に行動できるように支援する。 ○色や物の大きさ、自他の弁別、時間の流れなどを習得できるように、個々に応じた課題や設定活動を提供し、支援を行う。 ○行動の機能に応じた環境調整や先行事象、結果（強化・弱化）を操作し、適切な行動形成を図れるよう支援する。									
	言語 コミュニケーション	○要求や拒否、ヘルプなどの表出を、活動や設定課題等を通して、表出性コミュニケーションを伸ばし、自分の気持ちが他者に伝わる経験を積み重ねる支援を行う。 ○発語だけでなく、個々に応じた具体物、絵、写真、文字等を使用したコミュニケーションを習得できるよう支援を行う。 ○重心、医療的ケア児が指さしや身振り、表情、サイン等で意思を表出できるように支援するとともに、必要なツールやジグの活用を図り、相互コミュニケーションの支援を行う。									
	人間関係 社会性	○自由遊びや設定活動を通して、他者との物のやりとりや順番、ルールを守るなど、集団活動への支援を行う。 ○遊びを通して、友達同士で遊ぶ楽しさ、他者の動きを模倣する、人との関わりで認められる経験を積み重ね、自己肯定感を育む支援を行う。 ○自他の弁別を図り、自己コントロール力を高めることができるように支援を行う。									
家族支援		○家族からの相談等に対して、電話や面談を行い、助言や支援を行います。 ○きょうだい児の行事や冠婚葬祭など、可能か範囲で支援、レスパイトを行います。					移行支援			○保育園等への移行や小学校等への就学に関する相談や情報提供を行います。 ○地域の公共施設等との交流を行います。	
地域支援・地域連携		○相談支援事業所や行政、児発事業所、放デイとの連携を図り、情報交換や共有を図ります。 ○医療機関との連携のもと、医療的ケアを行うとともに、情報共有を行います。					職員の質の向上			○個々の支援プログラムを作成し、本人支援のためのねらいと支援方法の統一を図り、実践、フィードバックを行います。 ○資格取得のための研修や専門的な外部研修に参加します。	
主な行事等		入園式、親子遠足、夏祭り、秋の遠足、クリスマス会、もちつき、卒園式									